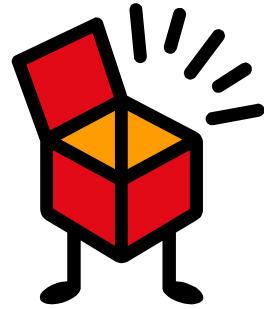


日立金属株式会社
2010年度決算説明



Materials Mag!c

2011年4月26日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

連結業績要約



[単位:億円、年度以外は3ヶ月累計(四半期)、()は前年同期比]

	2008年度					2009年度					2010年度				
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年度 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年度 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	年度 実績
売上高	1,756	1,781	1,430	940	5,907	925	1,028	1,129	1,235	4,317	1,269	1,273	1,338	1,322	5,202 (121%)
営業利益	154	143	32	△178	151	△45	10	71	97	133	120	99	121	91	431 (+298)
経常利益	174	123	△3	△192	102	△55	△6	64	97	100	107	85	113	71	376 (+276)
(特別損益)	△0	△0	△43	△61	△104	△1	△25	△3	△14	△43	△0	△6	0	△9	△15 (+28)
税前利益	174	123	△46	△253	△2	△56	△31	61	83	57	107	79	113	62	361 (+304)
当期純利益	87	66	△57	△126	△30	△37	△20	28	48	19	55	48	62	57	222 (+203)
設備投資額	82	115	110	131	438	52	34	32	47	165	34	48	49	73	204 (+39)
減価償却費	75	78	81	84	318	74	75	78	78	305	67	68	73	76	284 (△21)
研究開発費	33	34	31	33	131	24	26	27	29	106	27	30	32	33	122 (+16)

2010年度業績概況

10年度(10年4月-11年3月)

■売上高・営業利益

売上高 5,202億円 (09年度対比 121%) 営業利益 431億円 (09年度対比 +298億円)

■需要動向

自動車関連分野 : 国内は景気政策終了により需要一服となったが、海外は北米・アジア等を中心に堅調に推移
エレクトロニクス関連 : 液晶・半導体関連で調整局面があったものの、アジアを中心に堅調に推移
産業インフラ分野 : 国内は緩やかに回復、エネルギー関連製品は海外からの需要が堅調に推移

■セグメント別動向 (09年度対比はマネジメントアプローチに対応した組替後の値)

・高級金属製品セグメント : 売上高 2,256億円 (09年度対比 120%)、営業利益 247億円 (09年度対比 +182億円)

⇒工具鋼は自動車・家電向けともに堅調に推移、液晶・半導体向けの電子材は3Qに調整局面となったが4Q後半に回復基調へ

・電子・情報部品セグメント : 売上高 1,340億円 (09年度対比 127%)、営業利益 142億円 (09年度対比 +71億円)

⇒マグネットは自動車・家電・FA向けが堅調に推移、情報部品関連は太陽光関連部品が伸長、アモルファスも新規市場開拓で需要増

・高級機能部品セグメント : 売上高 1,618億円 (09年度対比 117%)、営業利益 114億円 (09年度対比 +59億円)

⇒自動車用鋳物は国内・海外とも好調持続、配管機器は継手関連に投資抑制の影響あるも、機器類はM&A効果等で売上増

■当期純利益、ROE

当期純利益 222億円 (09年度対比 +203億円) ROE 11.0% (09年度対比 +10.0%)

■設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資 204億円 減価償却費 284億円 研究開発費 122億円

(09年度対比 +39億円)

(09年度対比 △21億円)

(09年度対比 +16億円)

■海外売上高比率 43.2% (09年度 42.7%)

■新製品売上高比率 24% (09年度 25%)

2010年度四半期業績推移(セグメント別)

売上高 5,202億円 09年度対比 121%

高級金属製品セグメント 2,256億円 (09年度対比 120%)
 電子・情報部品セグメント 1,340億円 (09年度対比 127%)
 高級機能部品セグメント 1,618億円 (09年度対比 117%)

■高級金属製品セグメント

特殊鋼は、工具鋼は家電関連に加え、自動車用金型のモデルチェンジ需要で好調に推移、電子金属材料の液晶・半導体向けも3Qは調整局面となったが4Q後半に回復。ロールは国内需要の回復は弱い状況が続いたがアジアを中心とした海外需要が堅調に推移。

■電子・情報部品セグメント

マグネットは、原材料価格の高騰があったものの、自動車、IT・家電・FA向けともに堅調に推移。情報部品は太陽光関連製品が伸長、情報通信端末の新規採用効果も貢献。アモルファス(軟磁性材料)は、中国・インド・北米からの旺盛な需要に支えられ増加。

■高級機能部品セグメント

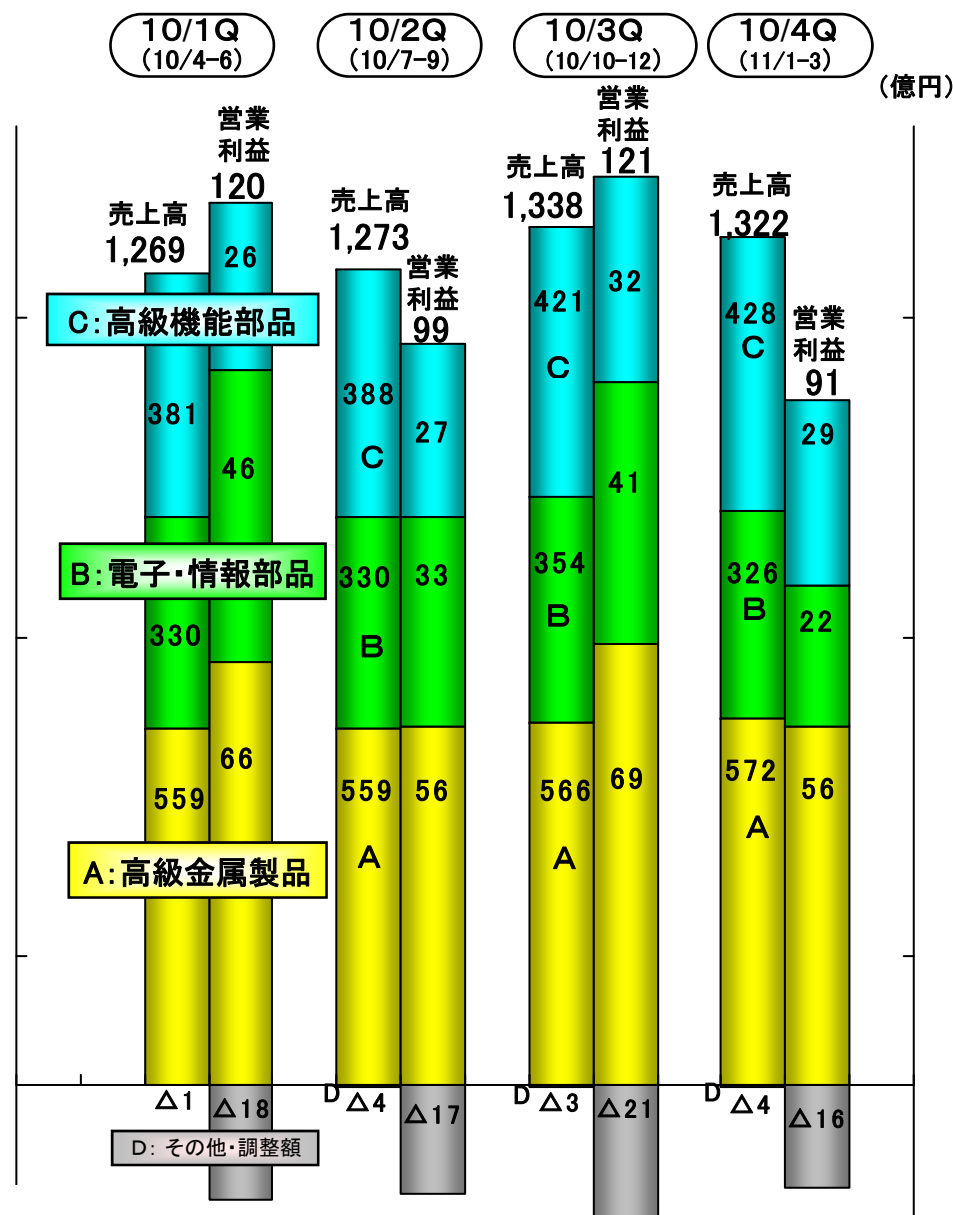
自動車用鋳物は、ダクタイル鋳鉄は米国・アジアともに好調に推移。ハーキュナイトは欧州向けに加え北米向け需要も堅調に推移し増加。アルミホイールは米国・アジアともに好調持続。配管機器は、継手関連は設備投資抑制による影響が続いたが、機器類はM&A効果等で売上増加。

営業利益 431億円 09年度対比 298億円増

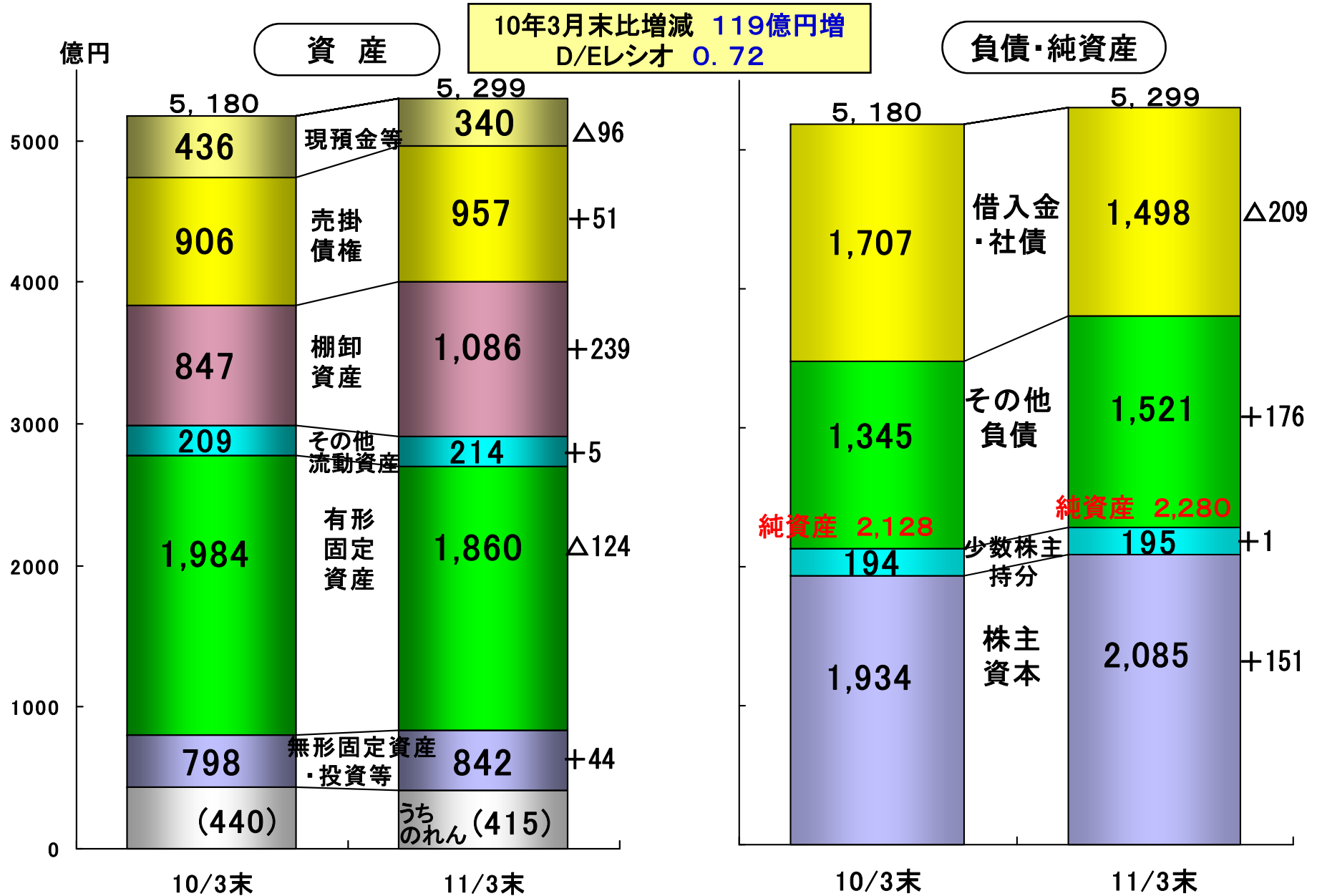
高級金属製品セグメント 247億円 (09年度対比 182億円増)
 電子・情報部品セグメント 142億円 (09年度対比 71億円増)
 高級機能部品セグメント 114億円 (09年度対比 59億円増)

4Qは原材料価格の高騰による影響や棚卸資産圧縮による操業減があったものの、年度を通じた需要堅調による操業益効果により前年度(09年度)対比で増益となった。

* 09年度対比はマネジメントアプロールに対応した組替後の値



連結B/S残高



連結キャッシュ・フロー

科 目	09年度累計	10年度累計
現金及び現金同等物期首残高	335	436
税金等調整前当期利益	57	361
減価償却費	305	284
棚卸資産の増減	144	△251
その他	64	33
営業キャッシュ・フロー	570	427
設備投資	△226	△197
その他	11	△49
フリーキャッシュ・フロー	355	181
借入金・社債の増減	△184	△186
配当金支払他	△68	△66
ネットキャッシュ・フロー	103	△71
為替換算差額他	△2	△25
増加額または減少額合計	101	△96
現金及び現金同等物期末残高	436	340

(注) 設備投資は検収ベース

(参考) 日立金属の事業構造

材料開発をベースに幅広い産業分野で「質」を提供する素材メーカー

事業セグメント	マーケット		
	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
高級金属製品	 <p>高級特殊鋼 (特殊鋼カンパニー)</p>		 <p>電子金属材料 (特殊鋼カンパニー)</p>
	<p>圧延用ロール (ロールカンパニー)</p> 		
		<p>切削工具 (日立ツール株式会社)</p> 	
電子・情報部品		 <p>マグネット (NEOMAXカンパニー)</p>	
		 <p>軟磁性材料 (軟磁性材料カンパニー)</p>	
		<p>情報通信用部品 (情報部品カンパニー)</p> 	
高級機能部品	 <p>配管機器 (配管機器カンパニー)</p>		
		<p>自動車用鋳物部品 (自動車機器カンパニー)</p> 	
	 <p>建築部材 (日立機材株式会社)</p>		

(参考) セグメント別事業内容

事業セグメント	事業ユニット	主要製品
高級金属製品セグメント [2009年度実績] 売上高 1,879億円 営業利益 65億円 [2010年度実績] 売上高 2,256億円 営業利益 247億円	特殊鋼カンパニー	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]: 金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料、剃刃材および刃物材
	ロールカンパニー	各種圧延用ロール(鉄鋼・非鉄・非金属)、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	日立ツール株式会社	切削工具
電子・情報部品セグメント [2009年度実績] 売上高 1,059億円 営業利益 71億円 [2010年度実績] 売上高 1,340億円 営業利益 142億円	NEOMAXカンパニー	マグネット(希土類磁石[NEOMAX [®]]・フェライト磁石等各種磁石およびその応用品)
	情報部品カンパニー	情報通信機器用部品(積層部品、アイソレータ)、IT機器用材料・部品、医療機器用材料・部品、ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット [®]]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas [®]]およびその応用品
	軟磁性材料カンパニー	アモルファス金属材料[Metglas [®]]
高級機能部品セグメント [2009年度実績] 売上高 1,380億円 営業利益 55億円 [2010年度実績] 売上高 1,618億円 営業利益 114億円	自動車機器カンパニー	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト [®]]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM [®]]、アルミホイール[SCUBA [®]]、その他アルミニウム部品
	配管機器カンパニー	設備配管機器(印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク)
	日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、マテハンシステム)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動